

公共図書館による展示

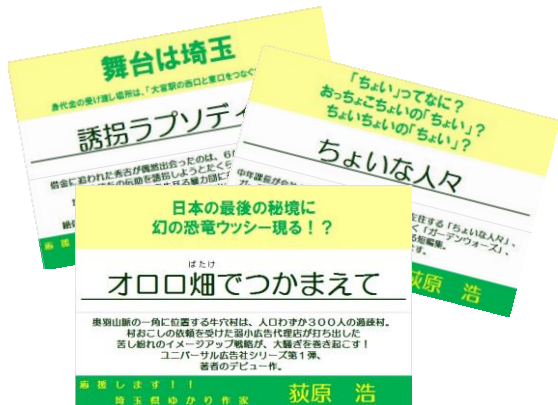
公共図書館 展示

応援します！図書館から  
— 埼玉の図書館で  
荻原浩氏の著作展示を開催!! —

県内公共図書館が気軽に参加できる企画として、記念講演の講師であり、埼玉県ゆかりの作家でもある荻原浩氏を県内あげて応援する展示キャンペーンを実施しました。



講師のプロフィール紹介ポスターと、いくつかの作品についてのPOPを作成し、9月25日に県内の図書館へデータを送付、展示の依頼をしました。



多くの図書館から展示風景の写真をいただき、充実した展示を行うことができました。



◆協力いただいた館は以下のとおりです。

- ・上尾市図書館
- ・大宮高等学校図書室
- ・川越市立図書館
- ・北本市立中央図書館
- ・久喜市立菖蒲図書館
- ・さいたま市立中央図書館
- ・さいたま市立東浦和図書館
- ・さいたま市立与野図書館
- ・草加市立中央図書館
- ・鶴ヶ島市立中央図書館
- ・所沢市立所沢図書館
- ・新座市立中央図書館
- ・飯能市立図書館
- ・宮代町立図書館

(館名の五十音順)



大宮高校図書室は荻原氏の出身高校とのもので特別にご協力いただきました。

あわせて、『誰にも書けない一冊の本』にちなみ、「誰にも書けない荻原浩の本」と題した著作リストを掲示するとともに、配布用のリストも作成、配布しました。



## 図書館彩々 -うちの図書館ここが自慢-

昨年に引き続き、各図書館の自慢ポイントを紹介する展示を行いました。荻原浩氏著作展示協力依頼の際にあわせて募集をしました。

県立を含め26館の広報紙等を展示・配布したほか、県立図書館・さいたま市図書館のイベントを写真で紹介しました。



<紹介した主なイベント>



県立熊谷図書館  
「二胡鑑賞会関連  
展示」 / 「16  
ミリフィルム映写  
技術講習会」 /

県立久喜図書館「博物館でおはなし会」  
「がん患者会パネル  
展示」 / さいたま  
市立大宮図書館・春  
野図書館「大宮アル  
ディージャとの連携  
事業」 / さいたま  
市立大宮西部図書館「夏休みこども読書マラ  
ソン」 / さいたま市立北浦和図書館「ぬい  
ぐるみの図書館おとまり会」 など

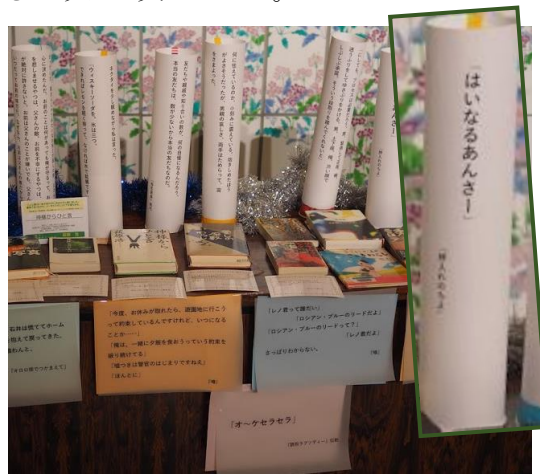


会場の一角にはD  
VDプレイヤーを設  
置し、平成27年1  
0月4日にテレビ埼  
玉で放映された広報  
番組「のびのびシテ  
ィ さいたま市 図  
書館の魅力に迫  
る！」の上映を行  
いました。

## 荻原浩氏著作展示

講演会会場ホワイエと、101集会室の2  
箇所で開催を行いました。

ホワイエでの展示は、前日に設営作業がで  
きなかったため、短時間で設置・撤去がで  
きるように工夫しました。



作品中のことばや、登場する音楽を、筒型  
やカード型のPOPにしました。

101集会室での展示は、同室の高校図書  
館展示の華やかさに負けないよう、視覚に訴  
える立体的なレイアウトを心がけました。

公共図書館による展示



作品中に登場する印象的なアイテム、登場人物の好物などを、著作とともに並べました (例：『噂』とハイヒール形の置物、『愛しの座敷わらし』とシヤボン玉、けん玉など)。



座敷わらし』とシヤボン玉、けん玉など)。

アイテムの代わりに、関連する本を並べた作品もあります (例：『さよならバースディ』の隣に、ボノボについての本など)。



おわりに

会場の広さの関係で昨年度と同規模の展示は行えませんでした。県内公共図書館のバリエーションに富んだ活動をお伝えできなかったのではないかと思います。

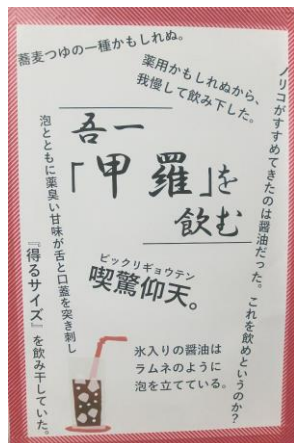
また、さまざまな角度からビジュアルな著作展示を行うことにより、来場者の方に荻原作品に興味を持っていただけたのではないかと自負しております。講師ご本人からもお褒めの言葉をいただきました。

展示に協力いただいた県内図書館の皆様、ありがとうございました。

今後も公共図書館の活動を広く県内外へアピールする良い機会となればと思います。

また、実行委員として積極的に運営に参加くださる図書館が増えることを願っています。

『僕たちの戦争』では、重いテーマの中にも荻原氏らしいユーモアが活きた、登場人物が初めてコーラを飲むシーンをピックアップし、コーラの実物とともに展示しました。



毎日新聞に連載中の『ストロベリーライフ』は、職員の私物の切り抜きを集めて展示しました。

